

副産物情勢

2月13日 更新

J A 全農ミートフーズ株式会社

項 目		内 容	備 考																										
内 臓	1.国産牛	○ 12月の成牛と畜頭数は、100.2千頭(前年比99.9%)と前年並みとなった。 内訳を見ると、和牛:52.9千頭(前年比102.1%)、交雑牛:24.1千頭(同103.0%)、乳牛去勢:8.4千頭(同85.3%)となった。 ○ 1月の成牛と畜頭数は、速報値(1月31日まで集計)で83.0千頭(前年比96.3%)と前年を下回る見込みとなった。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(1月28日公表)によると、1月の出荷頭数は、交雑種は増加するものの、和牛および乳用種の減少が見込まれ、2月は全品種の減少が見込まれることから、前年同月を下回ると予測する。(1月 82.1千頭(前年比94.9%)、2月 78.3千頭(同94.7%)) 3か月平均(12月～2月)では、出荷頭数89.2千頭(前年比99.1%)、生産量28.9千ト(同101.0%)と出荷頭数は前年同期を下回る一方、生産量は上回ると予測する。 ○ 需 給 動 向 ： 赤物:全体的に引き合いは継続している。 白物:需要期であるが期待していたほどの動きはない。	1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛内臓</th><th>豚内臓</th></tr><tr><td>令和3年4月 26日</td><td>25</td><td>5</td></tr><tr><td>令和3年10月 18日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和4年2月7日</td><td>25</td><td>5</td></tr><tr><td>令和4年4月4日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和4年8月8日</td><td>45</td><td>9</td></tr><tr><td>令和6年12月2日</td><td>48</td><td>9</td></tr></table>			価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年4月 26日	25	5	令和3年10月 18日	35	7	令和4年2月7日	25	5	令和4年4月4日	35	7	令和4年8月8日	45	9	令和6年12月2日	48	9			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																										
	令和3年4月 26日	25	5																										
令和3年10月 18日	35	7																											
令和4年2月7日	25	5																											
令和4年4月4日	35	7																											
令和4年8月8日	45	9																											
令和6年12月2日	48	9																											
2.国産豚	○ 12月の全国豚と畜頭数は、1,491千頭と前年を上回った。(前年比101.8%) 地域別と畜頭数(数値は前年同月比);北海道101.4%、東北102.8%、関東101.3%、北陸甲信越105.0%、東海102.2%、近畿98.2%、中四国100.0%、九州・沖縄101.9% ○ 1月の全国と畜頭数は、1,409千頭(速報値1月31日まで集計、前年比100.3%)と前年並みの見込みとなった。 なお、稼働日数は昨年と同日で、1日当たりの平均と畜頭数は74,158頭(前年実績:73,901頭/日、前年差+257頭/日)となった。 ○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課;1月21日付け)によると、2月;1,240千頭(前年比96%)、3月;1,395千頭(同103%)、4月;1,391千頭(同101%)、5月:1,185千頭(同91%)、6月:1,360千頭(同110%)であり、今後5か月間の合計頭数は前年比約100%と前年並みの見込み。 ○ 需 給 動 向 ： 赤物:一部商品を除き、全体的に堅調に推移 白物:堅調に推移しているものの、一部原料滞留が見られるため、注意が必要	※乳牛45円/kg *豚正貫物 2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛内臓</th><th>豚内臓</th></tr><tr><td>令和3年4月19日</td><td>25</td><td>3</td></tr><tr><td>令和3年10月 15日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年2月1日</td><td>25</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年3月28日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年8月1日</td><td>45</td><td>5</td></tr><tr><td>令和6年12月2日</td><td>48</td><td>5</td></tr></table>			価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年4月19日	25	3	令和3年10月 15日	35	4	令和4年2月1日	25	4	令和4年3月28日	35	4	令和4年8月1日	45	5	令和6年12月2日	48	5				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																											
令和3年4月19日	25	3																											
令和3年10月 15日	35	4																											
令和4年2月1日	25	4																											
令和4年3月28日	35	4																											
令和4年8月1日	45	5																											
令和6年12月2日	48	5																											
3.輸入牛	○ 12月の輸入通関実績は、全体で43.0千トと前年を上回った。(前年比109.7%、前月比111.1%)。 内訳ではチルド:16.6千トン(前年比103.8%、前月比136.9%)、フローズン:26.4千ト(前年比113.7%、前月比99.3%)となった。 輸入相手国別では、チルド・フローズンともに豪州、カナダが増加した。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、チルドは、1月は現地価格の高止まり等により、米国産輸入量の減少が見込まれることから前年同月を下回ると予測し、2月は米国の減少と豪州産の増加が見込まれるが、前年同月の輸入量が少なかったこと等から上回ると予測する。フローズンは、豪州産のうち、主に加工用のひき材等に使用されるトリミングの増加が見込まれること等から、1月、2月ともに前年同月を上回ると予測する。3か月平均では、チルド、フローズンともに上回ると見込んでいる。 令和8年 1月 合計:35.0千ト(前年比107.6%)、チルド:13.1千ト(同98.1%)、フローズン:21.9千ト(同114.2%) 令和8年 2月 合計:31.5千ト(前年比107.3%)、チルド:12.2千ト(同110.4%)、フローズン:19.3千ト(同105.5%) ○ 輸入牛内臓実績(令和7年12月): 牛腸(冷凍) :1,129ト(前年比81.3%・前月比109.1%) 国別実績;米国844ト、豪州118ト、カナダ113ト他 牛レバー(冷凍):47ト(前年比103.7%・前月比74.3%) 国別実績;米国46ト、豪州1ト	3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚 <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛原皮(和牛)</th><th>豚原皮</th></tr><tr><td>令和元年7月22日</td><td>700</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年3月16日</td><td>500</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年6月15日</td><td>100</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年7月20日</td><td>100</td><td>2</td></tr><tr><td>令和2年9月28日</td><td>10</td><td>2</td></tr><tr><td>令和3年5月24日</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>令和5年10月16日</td><td>10</td><td>2</td></tr></table>			価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	令和元年7月22日	700	10	令和2年3月16日	500	10	令和2年6月15日	100	10	令和2年7月20日	100	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年5月24日	10	10	令和5年10月16日	10	2	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																											
令和元年7月22日	700	10																											
令和2年3月16日	500	10																											
令和2年6月15日	100	10																											
令和2年7月20日	100	2																											
令和2年9月28日	10	2																											
令和3年5月24日	10	10																											
令和5年10月16日	10	2																											
原 皮	1.牛原皮	○ 輸 出 実 績 ( 令 和 7 年 12 月 ) : 57,628枚(前年比96.3%、前月比180.6%) 国別実績;タイ51,738枚(前年比97.2%)、韓国5,290枚(同96.9%)、インド600枚(前年なし) 輸出平均価格(令和7年12月): 2,370円/枚(前年差▲449円、前月差▲118円) ○ 輸 入 実 績 ( 令 和 7 年 12 月 ) : 牛大判皮枚29,415枚(前年比113.5%、前月比173.9%)、ウェットブルー11,080枚※(同73.5%、同173.9%) ※4.4㎡/枚で計算 輸入平均価格(令和7年12月): 牛大判皮6,985円/枚(前年差▲174円、前月差+806円)、ウェットブルー7,128円/枚(同▲1,769円、同▲1,643円) ○ 海 外 情 勢 : 昨年より流通価格は下落している。輸出枚数は前月を大きく上回っているが、前年を下回っている。 ○ 国 内 情 勢 : 輸出枚数減少分が、国内に流れている分もあり在庫が増えている。	4.大阪市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚 <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛原皮(和ヌキ)</th><th>豚原皮</th></tr><tr><td>令和元年8月15日</td><td>1,000</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年3月16日</td><td>800</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年6月22日</td><td>300</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年7月27日</td><td>300</td><td>2</td></tr><tr><td>令和2年9月28日</td><td>10</td><td>2</td></tr><tr><td>令和3年6月1日</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>令和5年10月23日</td><td>10</td><td>2</td></tr></table>			価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮	令和元年8月15日	1,000	10	令和2年3月16日	800	10	令和2年6月22日	300	10	令和2年7月27日	300	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年6月1日	10	10	令和5年10月23日	10	2
	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮																										
令和元年8月15日	1,000	10																											
令和2年3月16日	800	10																											
令和2年6月22日	300	10																											
令和2年7月27日	300	2																											
令和2年9月28日	10	2																											
令和3年6月1日	10	10																											
令和5年10月23日	10	2																											
2.豚原皮	○ 輸 出 実 績 ( 令 和 7 年 12 月 ) : 1,189,750枚(前年比108.3%、前月比129.5%) 国別実績;タイ769,410枚(前年比97.0%)、ベトナム221,240(同204.4%)、カンボジア142,600枚(同91.8%)、韓国56,500枚(同133.6%) 輸出平均価格(令和7年12月): 294円/枚(前年差▲54円、前月差▲4円) ○ 需 給 動 向 : 引き続きドルベースでは過去最低水準で推移している。 ゼラチン向けも供給過多となっており、数量調整の必要がある。																												
レンダリング	1.油脂等	○ 国産食用加工油脂向け価格(2月渡し): 牛脂175円/kg(前年差+30円、前月差±0円)、豚脂175円/kg(同+30円、同±0円) 牛脂・豚脂ともに前月価格から据え置きとなった。引き続き需給は需要期にあり、いずれも引き締め感が強い。 豚脂はラーメンや肉まん向け、牛脂はファーストフードやカレー・シチュー向けが堅調である。 ○ マレーシア産パーム油相場(1月): 224円/kg(前年差+23円、前月差+33円) 12月生産量は182万トン(前月比94.5%)、輸出量は131万トン(同108.5%)、月末在庫は305万トン(同107.6%)となった。 在庫は増加しているが、バイオ燃料需要の台頭などで相場自体が底上げされている。 ○ 関東飼料用油脂(1月): 144円/kg(前年差+30円、前月差±0円) ○ 工業用油脂(1月): 125円/kg(前年差+30円、前月差±0円) ○ UCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格(1月): 153円～156円/kg程度(前年差+30円、前月差±0円)	5.食用加工油脂価格 単位:円/kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛脂</th><th>豚脂</th></tr><tr><td>令和5年4月1日</td><td>165</td><td>175</td></tr><tr><td>令和5年7月1日</td><td>155</td><td>165</td></tr><tr><td>令和5年10月1日</td><td>145</td><td>155</td></tr><tr><td>令和6年7月1日</td><td>145</td><td>145</td></tr><tr><td>令和7年2月1日</td><td>155</td><td>155</td></tr><tr><td>令和7年7月1日</td><td>165</td><td>165</td></tr><tr><td>令和7年10月1日</td><td>175</td><td>175</td></tr></table>			価格改定年月日	牛脂	豚脂	令和5年4月1日	165	175	令和5年7月1日	155	165	令和5年10月1日	145	155	令和6年7月1日	145	145	令和7年2月1日	155	155	令和7年7月1日	165	165	令和7年10月1日	175	175
価格改定年月日	牛脂	豚脂																											
令和5年4月1日	165	175																											
令和5年7月1日	155	165																											
令和5年10月1日	145	155																											
令和6年7月1日	145	145																											
令和7年2月1日	155	155																											
令和7年7月1日	165	165																											
令和7年10月1日	175	175																											